

# 人間環境大学学位規程

## 第1章 総則

### (趣旨)

第1条 この規程は、人間環境大学学則（以下「学則」という）第41条第43項および人間環境大学大学院学則（以下「大学院学則」という）第38条の規定に基づき、本学における学位および、その授与に関する必要な事項を定める。

### (学位の種類)

第2条 本学において授与する学位は、学士、修士および博士とする。

### (学士の学位授与の要件)

第3条 学士の学位は、学則第41条第2項の規定に基づき、本学の教育課程を修了し、卒業を認定された者に授与する。

### (学士の表記)

第4条 学則第41条第3項の規定に基づく、学士の学位に付記する専攻分野は、次のとおりとする。

人間環境学部	学士（心理学）または学士（環境科学）
心理学部	学士（心理学）
環境科学部	学士（環境科学）
看護学部	学士（看護学）
松山看護学部	学士（看護学）
総合心理学部	学士（心理学）
総合環境学部	学士（環境学）

### (修士または博士の学位授与要件)

第5条 修士または博士の学位は、大学院学則第37条および第37条の2の規定に基づき、本大学院の修士課程または博士課程を修了した者に授与する。

### (修士および博士の表記)

第6条 大学院学則第38条の規定に基づく、修士および博士の学位に付記する専攻分野は、次のとおりとする。

研究科名	修士（学位）	博士（学位）
人間環境学研究科人間環境専攻	修士（人間環境学）	—
看護学研究科看護学専攻	修士（看護学） または修士（助産学）	博士（看護学） または博士（助産学）
松山看護学研究科看護学専攻	修士（看護学）	博士（看護学）

## 第2章 学位の授与

### （学士の授与）

- 第7条 学長は、第3条に定める者に対し、教授会の議を経て、学士の学位を授与する。
- 2 学士の学位の授与は、毎年3月とする。
  - 3 前項の学位の授与は、9月に行うことができる。

### （学士の学位記の様式）

- 第8条 学士の学位記の様式は、様式第1号に定める。

### （修士および博士の授与）

- 第9条 学長は、第5条に定める者に対し、研究科委員会の議を経て、修士または博士の学位を授与する。
- 2 修士または博士の学位の授与は、毎年3月とする。
  - 3 前項の学位の授与は、9月に行うことができる。

### （修士および博士の学位記の様式）

- 第10条 修士および博士の学位記の様式は、様式第2号に定める。

## 第3章 学位の取消

### （学位の取消）

- 第11条 本学において学位を授与された者に、次の事実があったときは、学士の学位については教授会、修士、および博士の学位については、研究科委員会の議を経て学位の授与を取消し、卒業証書・学位記または修士、および博士の学位記を返付せしめ、かつその旨を公表する。
- (1) 不正の方法によって学位の授与を受けた事実が判明したとき
  - (2) 栄誉を汚辱する行為があったとき
  - 2 前項の研究科委員会の議決については、委員の3分の2以上が出席し、その3分の2以上の同意をもって決する。

## 第4章 その他

(博士論文の公表)

- 第12条 博士の学位を授与したときは、本学は授与した日から3ヶ月以内に当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨、および論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表する。
- 2 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から一年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
  - 3 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合、本学は、その論文の全文を求めるに応じて、閲覧に供するものとする。
  - 4 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。
  - 5 学位授与後に公表する場合は、人間環境大学学位審査論文と明記するものとする。

(論文の保存)

第13条 審査を修了した学位論文は、次のとおり取り扱う。

- (1)学部の学士の卒業論文は、本学附属図書館または分館で5年間保管し、閲覧に供する
- (2)修士論文および博士論文は、製本し本学附属図書館または分館で保存し、閲覧に供する

(規程の主管部署)

第14条 この規程は、教務部が主管する。

(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、運営会議の議を経て、学長が決定する。

- 附則 1. この規程は、平成28年4月1日から施行する。  
2. この規程の施行をもって、人間環境大学人間環境学部、大学院人間環境学研究科学位規程および人間環境大学看護学部および看護学研究科学位規程は廃止する。

ただし、人間環境大学看護学部および看護学研究科学位規程の廃止にかかわらず、第7条第2項について、看護学部の平成27年度入学生には、学士の学位を9月に授与することができる。また、第9条第2項について、看護学研究科の平成27年度入学生には、修士または博士の学位記を9月に授与することができる。

- 附則 この規程(改正)は、平成29年4月1日から施行する。  
なお、改正後の第9条第3項の規定については、看護学研究科の平成27年度以

降の入学生に適用する。

附則 この規程（改正）は、令和2年4月1日から施行する。

附則 この規程（改正）は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この規程（改正）は、令和4年4月1日から施行する。

附則 この規程（改正）は、令和5年4月1日から施行する。

附則 この規程（改正）は、令和7年4月1日から施行する。

様式第1号（第8条関係）

○○○○○(欄外参照)第 号 割印

卒業証書・学位記

人間環境学部

心理学科：人環大人心  
環境科学科：人環大人環  
心理学部  
心理学科：人環大心  
犯罪心理学科：人環大犯  
環境科学部  
ワード生態学科：人環大生態  
環境データイング学科：人環大D  
看護学部  
看護学科：人環大看  
松山看護学部  
看護学科：人環大松看  
総合心理学部  
総合心理学科：人環大総心  
総合犯罪心理学科：人環大総犯  
総合環境学部  
ワード自然学科：人環大自然  
環境情報学科：人環大情報

人間環境大学長

人間環境大学○○学部長

令和 年 月 日

本学○○学部○○学科所定の課程を  
修めて本学を卒業したことを認め  
学士(○○)の学位を授与する

大学印

氏年月日 生名

学長印

長学部印

様式第2号（第10条関係）

○○○○○(欄外参照)第 号 割印

学位記

人間環境学研究科

人間環境専攻：人環大修  
看護学研究科  
博士前期課程：人環大看修  
博士後期課程：人環大看博  
松山看護学研究科  
博士前期課程：人環大松看修  
博士後期課程：人環大松看博

大学印

氏年月日 生名

本学大学院○○○研究科○○○学専攻(の)修士課程  
(博士前期課程・博士後期課程)において所定の  
単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格  
したので修士(○○)(博士(○○))の学位を授与する

令和\*\*年\*\*月\*\*日

人間環境大学  
○○○研究科長

研究科  
長印

人間環境大学学長

学長印

**The Graduation Committee of  
University of Human Environments**

hereby attests to all persons to whom this may concern, that

**First\_name   Last\_name**

has fulfilled and completed requirements for graduation in our

**Graduate School of (研究科)**

**for the degree of**

**Master (Doctor)   of (専攻分野)**

The degree is awarded with all rights, privileges & responsibilities.

**March \* th, \* \* \***

---

**Dean , Graduate School of (研究科)**

---

**President**